

西条市市民活動支援センター（管理運営：NPO法人西条まちづくり応援団）では、西条市が取り組んでいる地域自治の実現と協働のまちづくりの推進を市と地域の間でサポートし、持続可能な暮らしを実現するための地域コミュニティづくりのお手伝いをしています。この通信では、地域課題の解決に向け、主に各地域で進められている取り組みを紹介していきます。

Vol.4、5では、2019年9月から2020年3月までの各地区（一部抜粋）の取り組みをご紹介します。

大町地区

大町地域づくり協議会で大町地区の地域づくりにおける5つの目標と、スローガン（キャッチコピー）を決定！

大町地区では、連合自治会、各種団体、学校、地元企業、警察など大町地区の団体が横で繋がりを連携する「大町地域づくり協議会」が2019年7月に発足しています（発足時から新たに1団体が加入し現在22団体）。発足後は各団体同士が連携するため、まずはお互いの活動について知ることができるよう団体ごとの調書の作成・共有を行いました。

また、協議会として活動していく上で「こんな大町にしたい」をテーマに座談会を行い、多く出た意見をまとめて5つの目標としました。

【大町地域づくり協議会が掲げる5つの目標】

- ◆暮らしを楽しみ活気と笑顔が溢れる大町
- ◆住民同士が親しみを感じ多様な世代が交流する大町
- ◆子ども達の成長と郷土愛を育む大町
- ◆自然や環境を守り次世代へ繋げる大町
- ◆住民の安全を守り皆が安心して暮らせる大町

これらの目標を基に、地区で行われる行事やイベントの見直しや連携先の検討が今後行われていきます。さらに地域づくり協議会のスローガン（キャッチコピー）を各団体をとおして募集し、300以上の案から「未来を描こう！みんなの**大町**」と決定しました。



←2020年3月には大町地域づくり協議会と市が対等なパートナーとして、地域自治の実現と協働によるまちづくりを推進することを目的にパートナーシップ協定が締結されました。

小松地区

小松の地域づくりを考え、盛り上げる企画部隊「立志隊」が発足しました！

市のタウンミーティングや各種団体の意見交換会を通じて、「世代間交流の拡大」、「団体同士の横の連携」、「高齢者等世帯への対応」の課題が見えてきました。課題解決に向けた方向性を考え、団体同士をつなぐ、そして何より地域づくりを楽しく盛り上げるための企画部隊として『立志隊』が発足しました。「立志」とは、その名の通り志を立てること。

「『誰もが安心して暮らせる小松の実現』のため、みんなで話し合いを重ねながら高め合っていこう!!」そんな思いが込められています。今あるものを活かしつつ、「団体同士が連携してどう課題解決を図っていくのか」、また「より多くの人に参加するためにどのような場づくりが必要なのか」、立志隊の熱い作戦会議が続いています。



↑立志隊の話し合いの一幕

田野地区

これからの田野地区を考える話し合いがスタートしました！

地区全体で地域づくりについて理解を深めるため、西条市政策アドバイザーの櫻井常矢氏をお迎えし、2019年12月に講演会、また2020年2月にはアドバイザーの講演を踏まえ、田野地区のこれからについて考える座談会を開催しました。座談会には地元の高校生も参加しており、将来の田野地区に向けたくさんの意見がよせられました。

